

はじめに もくじ

はじめに もくじ	1
はじめに	2

1章 パソコンの準備..... 11

1 使う前に確認する	12
2 Windows セットアップ.....	14
1 Windows 8.1 のセットアップ.....	15
2 Windows 7 のセットアップ.....	18
3 Windows 8.1 の操作について.....	24
1 デスクトップ画面とスタート画面について	24
2 チャームの操作について.....	27
3 アプリケーション一覧からのアプリケーションの起動.....	28
4 Windows セットアップのあとは	29
5 リカバリーメディアを作る – TOSHIBA Recovery Media Creator –	31

はじめに

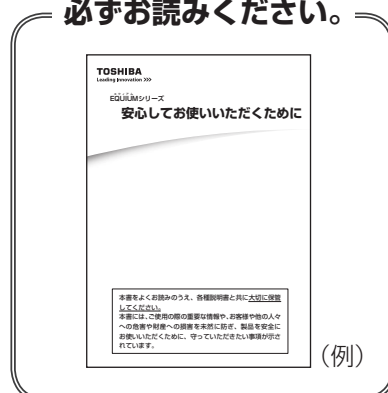
このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。

『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。








『パソコンで見るマニュアル』（本書）は、次の決まりに従って書かれています。

必ずお読みください。



(例)

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 表示中のマニュアルの内容を参照する場合… 「 」● ほかのマニュアル、ヘルプを参照する場合… 『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど（高温・低温）、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 8.1 ProまたはWindows 7 Professionalを示します。

Windows 8.1

Windows 8.1 Proを示します。

Windows 7

Windows 7 Professionalを示します（OSのダウングレードに対応しているモデルのみ）。

Microsoft IME

Microsoft Office IME 2013を示します。

ドライブ

パソコン本体搭載のDVDスーパーマルチドライブまたはDVD-ROMドライブを示します。搭載しているドライブはモデルによって異なります。

DVDスーパーマルチドライブ搭載モデル

DVDスーパーマルチドライブを搭載しているモデルを示します。

DVD-ROMドライブ搭載モデル

DVD-ROMドライブを搭載しているモデルを示します。

SSD

SSD搭載モデルには、補助記憶装置として、フラッシュメモリを記憶媒体とするドライブが搭載されています。SSD（ソリッドステートドライブ）とは、ハードディスクドライブの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。

SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

なお、SSD搭載モデルにおいて本書に「ハードディスク」と記載されている場合は、SSDを示します（「外付けハードディスクドライブ」は除く）。

TPM搭載モデル

TPM機能を搭載しているモデルを示します。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013、またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

Office Personal 2013

Microsoft Office Personal 2013を示します。

Office Home and Business 2013

Microsoft Office Home and Business 2013を示します。




3 記載について

- ご購入のシリーズによって内蔵されているコネクタや拡張スロットなどは異なります。詳細については『取扱説明書』をご覧ください。
- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「****モデルの場合」や「****シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のハードディスクや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- 本書には、記録メディアについて記載している部分がありますが、モデルによって使用できる記録メディアが異なりますのであらかじめご確認ください。

参照▶ 使用できる記録メディアについて『取扱説明書』

4 Trademarks

本マニュアルで使用している各社の登録商標について記述します。

- Microsoft、Windows及びWindowsロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Intel、インテル、Intel vPro、Celeron、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
- MagicGate、メモリースティック、メモリースティックロゴ、メモリースティックデュオ、メモリースティックPRO、メモリースティックPRO デュオ、メモリースティック マイクロ、"OpenMG"および"OpenMG"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標または商標です。
- SDロゴは商標です。()
- SDHCロゴは商標です。()
- SDXCロゴは商標です。()
- Fast Ethernet、Ethernetは富士ゼロックス株式会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター/ai-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- 「PC引越ナビ」は、東芝パソコンシステム株式会社の商標です。

- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの登録商標または商標です。

本マニュアルに掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト (たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高1,000メートル (3,280フィート) 以上をお考えください。
- 目安として、気温10~30℃ (高所の場合25℃) の範囲を超えるような外気温の状態の本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。



6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

■Windows 8.1の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [はじめに] の [ リリース情報] をクリックする

■Windows 7の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリックする

8 お願い

- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 本体のハードディスクにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、東芝指定のサービス会社に連絡してください。
HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスクを交換します。
それ以外のパスワードの場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 本製品のセキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティーケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。

- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。

ウイルスチェックがまったく行われないう状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。

- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書とWindowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 ▶ お客様登録について『困ったときは』

9 ユーザーアカウント制御 画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。

パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。

バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。

本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていないために、内蔵バッテリーがなくなったとき
- 故障、修理のとき
- メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

11 環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存」などと表示されるものです。



(表示例)

- ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
- コンピューター名に環境依存文字が含まれていると、アプリケーションが起動しないなど、正常に動作しないことがあります。
- ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
- アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

CD/DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

12 電源を切った状態での操作について

一部の操作は、電源を切った状態で行うため、本マニュアルを参照しながら操作することはできません。

必要に応じて、本書の該当ページを印刷してから操作してください。

13 「Office」のライセンス認証について

* Office搭載モデルのみ

Office搭載モデルの場合、「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

■ Windows 8.1 の場合

① スタート画面の [Microsoft Office] をクリックする

■ Windows 7 の場合

① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [Microsoft Office] をクリックする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

14 映像関連の機能を使用するにあたって

□ 映像を扱うアプリケーションについて

映像を扱うアプリケーションの使用中に、スリープ／休止状態への移行を行わないようにしてください。

エラーメッセージが表示されたり、アプリケーションが終了したりする場合があります。

その場合は、使用したいアプリケーションを再度起動してください。



1 章

パソコンの準備

本製品を使い始めるときのセットアップ方法、リカバリーメディアの作成方法などについて説明しています。

1	使う前に確認する	12
2	Windows セットアップ	14
3	Windows 8.1 の操作について	24
4	Windows セットアップのあとは.....	29
5	リカバリーメディアを作る - TOSHIBA Recovery Media Creator -	31

1 使う前に確認する

1 章

パソコンの準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■ 箱の中身の確認

『付属品チェックリスト』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝指定のサービス会社にお問い合わせください。

参照▶ 東芝指定のサービス会社について『困ったときは』

2 忘れずに行ってください

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

本書は、保証期間等の法定事項による記載に準拠して記載しております。詳細は「保証書」の裏面に記載して、保証期間を決定するものとします。

品名	型番	保証期間	保証内容
□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□

本書は日本国内での保証と、E.W. 3年保証（よみか）の保証とを併用して保証します。保証期間については、保証書に記載の保証期間を優先してください。

注意 Please refer to the back of this section, this product is covered by the E.W. 3 year warranty from the date of purchase for the period shown in the warranty card.

本書が保証書に記述されている保証期間と保証内容とを併用して保証期間を決定し、保証期間を決定する場合は、保証書に記載の保証期間を優先してください。

●販売店名、住所、電話番号

東芝 保証書

3 パソコンの置き場所

- 温度は10～35℃、湿度は20～80%の環境にする
- 急速に温度や湿度が変化するような環境は避ける
- 暖房器具などの熱いものの近くには置かない
- 腐食性の薬品のそばに置かない
- 振動などの無い、安定した平らな場所に置く
- 放熱のために、パソコン本体の周囲に適当なスペースを確保する
特に通風孔がある面は、少なくとも壁から10cm程度離すようにしてください。
- マウスなどの周辺機器を操作するのに適当な場所を確保する
- 無線通信装置から離す
携帯電話やスマートフォン／タブレットも無線通信装置の一種です。

4 照明

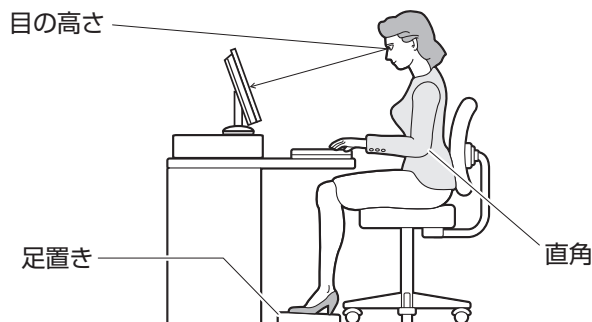
- 日光や照明が画面に反射しないように設置する
薄く着色された窓ガラスを使用したり、ブラインドやスクリーンで光を遮ってください。
- 明るい照明や日光が直接眼に入るような場所にパソコン本体を置かない
- なるべく、柔らかい間接照明などを使用する
書類や机を照らすためには、スタンドを使用し、その際スタンドの光が画面に反射したり、直接目に入らない位置に置いてください。
- 画面の明るさと広い視界を得るために、ディスプレイの角度を調節する

5 健康のために気をつけたいこと

- リラックスした姿勢で座る
肩や首が疲れないように、背中を楽にするために、椅子やマウスなどを正しい位置に置いてください。
- 適度に姿勢を変える
- 時々立ち上がってストレッチする
1日に何度も手首と首を動かしたりのばしたりしてください。
- 1時間を超えて連続した作業をしないようにする
1時間に10～15分程度の休憩時間をとってください。
- 作業時間内にも1～2分の小休止を1～2回とる
- 長時間使用して、身体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用をやめて休息する
長時間使い続けると、腕や手首が痛くなることがあります。万が一、休息しても不快感や痛みが取れない場合は、医師の診察を受けてください。
- ディスプレイの角度、輝度、明るさ、コントラストなどを、画面が見やすいように調節する
詳しくは、『ディスプレイに付属の説明書』をご覧ください。
- ディスプレイの表示画面を定期的に清掃する
表示画面がほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなります。

6 使用時の姿勢

- パソコン本体の正面に、適当な高さで距離をおいて座る
眼精疲労を避けるために、ディスプレイが目の高さより低くなるように調節してください。
- キーボードがひじよりも少し下にくるように椅子の高さを調節する
- おしりよりもひざが少し高くなるように座る
- 背筋が曲がらないように、椅子の背もたれを調節する
- ひざとひじはほぼ90度になるように、まっすぐ座る
前にかがんだり、背もたれによりかかたりしないでください。



(注) 図はイメージ図です。

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■ セットアップ前に確認してください

- マウスとキーボードが接続されていることを確認してください。接続していないと、セットアップを行うことができません。
- 増設メモリ、PCIカード、PCI Expressカードを取り付けたり、プリンターを接続するなどの機器の拡張を行っている場合、正しくセットアップできない場合があります。ディスプレイやマウス、キーボード以外の周辺機器の取り付けや接続はシステムのセットアップ終了後に行ってください。
- セットアップを行うときは、LANケーブルは接続しないでください。LANケーブルが接続されていると、ネットワークの設定が既定値（default）のままネットワークに接続してしまうため、ネットワークに障害をもたらす場合があります。
- システムのセットアップ中は、絶対に電源を切らないでください。
- やむをえない場合以外は、セットアップ中にキャンセルしないでください。正しくセットアップできない場合があります。
- ケーブル類が確実に接続されていることを、もう一度確認してください。
- セットアップを行わないと、あらかじめインストールされているシステムやアプリケーションを使用することはできません。

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップが完了するまでは、プリンターなどの周辺機器やLANケーブルは接続しないでください。
パソコン本体の電源を切った状態で、あらかじめ取りはずしておいてください。

参照 機器の取りはずし『取扱説明書』

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。

しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、**[Shift]**キーを押すか、マウスをさわってください。

[Shift]キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

1 Windows 8.1 のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

必要な機器やケーブル（マウス、キーボード、ディスプレイ、電源コード、ACアダプターなど）を接続し、電源を入れてください。接続方法は『取扱説明書』を参照してください。パソコンが起動したら、[ライセンス条項] 画面が表示されます。

1 Windows 8.1 のセットアップ

セットアップには約 10～20 分かかります。

1 Windows と東芝のライセンス条項の内容を最後まで確認し、[同意します] をクリックする

[パーソナル設定] 画面が表示されます。

2 好きな色を選択する

Windows 画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をクリックしてください。

色はあとから変更できます。

3 PC（コンピューター）名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。必ず設定してください。

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」（カーソル）が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[PC名] の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BackSpace** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **Delete** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

4 [次へ] をクリックする

[設定] 画面が表示されます。

5 [簡単設定を使う] をクリックする

パソコンを使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[お使いのアカウント] 画面が表示されます。

6 ユーザー名を入力する

ユーザー名は、Windows を使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。必ず設定してください。

管理者ユーザーとは、ネットワークやパソコンを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windows のセットアップ後に登録できます。

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

7 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windows を起動するときに入力しないと、Windows を起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windows パスワード」と呼びます。

[パスワード] と書いてある右の欄に、Windows パスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows パスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows パスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

8 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力] と書いてある右の欄に、手順 **7** で入力したWindows パスワードを、もう一度入力してください。

9 パスワードのヒントを入力する

設定したWindows パスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒント] と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

10 [完了] をクリックする

11 パソコンの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、**Shift** キーを押してください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **Enter** キーを押してください。

Windows が起動します。



メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**Shift** キーを押すか、マウスをさわってください。**Shift** キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

2 Windows 7 のセットアップ

* この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。

リカバリー後に再度セットアップするときなどは、必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

* この操作は、『スタートアップガイド』でも説明しています。

必要な機器やケーブル（マウス、キーボード、ディスプレイ、電源コード、ACアダプターなど）を接続し、電源を入れてください。接続方法は『取扱説明書』を参照してください。パソコンが起動したら、OSのタイプを選択する画面または [Windows のセットアップ] 画面が表示されます。



メモ

- [Windows のセットアップ] 画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に絶対に電源を切らないようにしてください。
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 OSのタイプを選択する画面が表示された場合

* [Windowsのセットアップ] 画面が表示された場合は、次項「**2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

パソコンが起動し、OSのタイプを選択する画面が表示された場合は、Windows 7のOSのタイプ（32ビット版と64ビット版）を選択します。

使い慣れたソフトや周辺機器を活用できる32ビット版、対応しているアプリケーションを使えばより高いパフォーマンスを発揮できる64ビット版、それぞれ目的に応じて選択してください。

工場出荷時にインストールされているOSと違うOSのタイプを選択した場合は、再インストールが必要になりますので、セットアップ開始までに約2～2.5時間かかります。

1 インストールするOSタイプの左にある をクリックする

工場出荷時にインストールされているOSタイプは、別紙の『本製品の仕様について』を参照してください。

32ビット版のときは [Windows 7 32ビットバージョン] を、64ビット版のときは [Windows 7 64ビットバージョン] をクリックしてください。

をクリックすると になります。

2 [次へ] ボタンをクリックする

■ 工場出荷時がWindows 7 32ビット版の場合

32ビットを選択した場合には、終了画面が表示されます。

[終了] ボタンをクリックし、続けて「本項 **2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

64ビットを選択した場合には、警告メッセージ画面が表示されます。

以降は、「ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」手順を参照してください。

参照▶ ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

■ 工場出荷時がWindows 7 64ビット版の場合

32ビットを選択した場合には、警告メッセージ画面が表示されます。

以降は、「ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す」の手順を参照してください。

参照▶ ハードディスクからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

64ビットを選択した場合には、終了画面が表示されます。

[終了] ボタンをクリックし、続けて「本項 **2** Windows 7のセットアップ」に進んでください。

2 Windows 7のセットアップ

セットアップには約10～20分かかります。

1 章

パソコンの準備

1 【国または地域】欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをパソコン側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。

管理者ユーザーとは、ネットワークやコンピューターを管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台のパソコンを使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

2 ユーザー名を入力する

[ユーザー名を入力してください] と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。

ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

「toshiba」と入力するときは、キーボードで **T O S H I B A** と押します。

■ ユーザー名に使えない文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

■ キーを押しても表示されないときは

キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」（カーソル）が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、[ユーザー名を入力してください]の下の欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

- カーソルの左側の文字を削除する **BackSpace** キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する **Delete** キーを押す

カーソルを左右に動かすには、**←** キーまたは **→** キーを押します。

3 コンピューター名を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。

[コンピューター名を入力してください] と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。

半角英数字以外は使用しないでください。また、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[ユーザーアカウントのパスワードを設定します] 画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

お願い

- パスワードを忘れると、Windows を起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後にパソコンに保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

[パスワードを入力してください] と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windows ログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう一度入力する

[パスワードをもう一度入力してください] と書いてある下の欄に、手順 **5** で入力したWindows ログオンパスワードを、もう一度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定したWindows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

[パスワードのヒントの入力] と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス条項をお読みになってください] 画面が表示されます。

9 マイクロソフトと東芝のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの[ライセンス条項に同意します]の左にある□をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows やコンピューターを使用することはできません。

表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピューターの保護とWindowsの機能の向上が自動的に行われるように設定してください] 画面が表示されます。

11 [推奨設定を使用します] をクリックする

[日付と時刻の設定を確認します] 画面が表示されます。

12 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。

[タイムゾーン] は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。

年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。

年・月を合わせてから、該当する日をクリックしてください。

時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。変更したい時/分/秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

お願い

- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。
- 日付と時刻はWindows セットアップ終了後に設定することもできます。

参照 ▶ 日付と時刻の設定『Windows ヘルプとサポート』

13 [次へ] ボタンをクリックする

14 ユーザーの設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。

モデルによっては、作業を完了するためにシステムが再起動します。

しばらくお待ちください。

パスワード入力画面が表示された場合は、Windows ログオンパスワードを入力し、**Enter** キーを押してください。

Windows が起動します。

メモ

- しばらくマウスやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、**Shift** キーを押すか、マウスをさわってください。**Shift** キーやマウスでは復帰せず、電源ランプが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。
- パソコンを起動するときに流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

3

Windows 8.1 の操作について

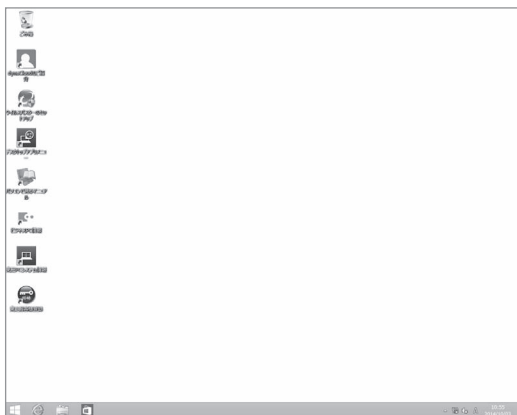
1 章

ここでは、Windows 8.1 の操作について簡単に説明します。

1 デスクトップ画面とスタート画面について

Windows 8.1 の画面構成やメニューの位置は、Windows 7などの従来のWindowsとは異なっています。従来のWindowsとWindows 8.1で大きく異なる点は、メイン画面が2種類（「デスクトップ画面」と「スタート画面」）あることです。

<デスクトップ画面>



(表示例)

<スタート画面>

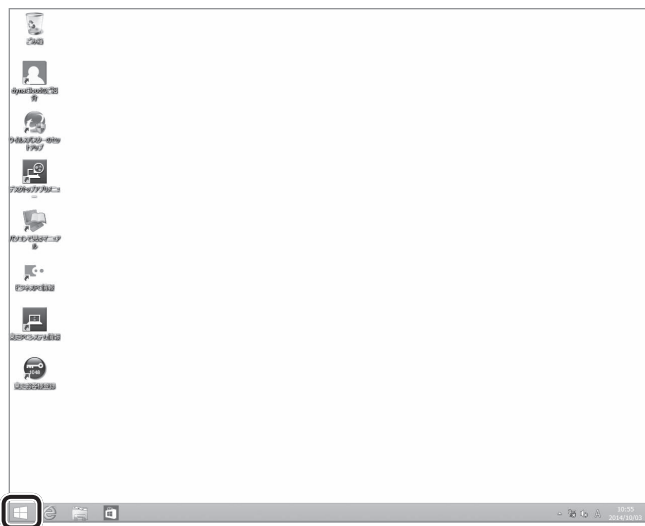


(表示例)

デスクトップ画面とスタート画面の切り替えかたについて説明します。

1 デスクトップ画面からスタート画面に切り替える


1 [スタート] アイコンをクリックする



(表示例)

スタート画面が表示されます。

メモ

- スタート画面で起動しているアプリケーションや、デスクトップ画面を表示している状態で、キーボードの  キーを押しても、スタート画面を表示することができます。
- パソコンを起動して最初に表示される画面*¹を、デスクトップ画面ではなく、スタート画面に変更できます。
 - * 1 Windowsパスワードを設定している場合や、ほかのユーザーアカウントを登録している場合は、先に確認の画面が表示されます。

次の設定を行ってください。

- ① タスクバーを右クリックする
メニューが表示されます。
- ② [プロパティ] をクリックする
- ③ [ナビゲーション] タブをクリックし、[サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

2 スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 章

パソコンの準備

1 [デスクトップ] をクリックする

* [デスクトップ] アイコン (タイル) は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。

またモデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



(表示例)

デスクトップ画面が表示されます。

3 スタート画面にタスクバーを表示する

1 ポインターをスタート画面の下端より、さらに下へ動かす タスクバーが表示されます。



(表示例)

2 チャームの操作について

チャームは、デスクトップ画面／スタート画面に関係なく表示して操作できます。

1 ポインターを画面の上または下の右隅に合わせる








(表示例)

5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する



(表示例)

 検索	本製品内のアプリケーション、ファイル、機能などを検索します。インターネット上の情報検索もできます。
 共有	共有するためのツールが用意されています。
 スタート	画面を切り替えます。
 デバイス	周辺機器を使用するためのメニューです。
 設定	設定メニューです。

3 アプリケーション一覧からのアプリケーションの起動

アプリケーション一覧からアプリケーションを起動する方法を説明します。

1 章

パソコンの準備

1 スタート画面で、ポインターを動かす



(表示例)

2 画面左下の [スタート] をクリックする



(表示例)

アプリケーション一覧が表示されます。

3 使用したいアプリケーションをクリックする

Windows セットアップ終了後の基本操作について、説明します。

日付と時刻の確認

日付と時刻は、通知領域に表示されています。

正しく設定されているかどうか確認してください。






正しく設定されていない場合は、日付と時刻を設定し直してください。

日付と時刻の設定については、Windows 8.1 の場合はスタート画面またはチャームの [検索] で検索し、Windows 7 の場合は『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。


Windows でわからない操作があったとき

■ Windows 8.1 の使いかた

Windows 8.1 の使い方について調べる方法には、次のものがあります。

- スタート画面やチャームの [検索] () を使って調べる
- スタート画面の「ヘルプ+使い方」 () から調べる
- 「ヘルプとサポート」 () から調べる
 - ① スタート画面で、ポインターを動かす
 - ② 画面左下の  をクリックする
 - ③ [Windows システムツール] の [ ヘルプとサポート] をクリックする

■ Windows 7 の使いかた

[スタート] ボタン () → [ヘルプとサポート] をクリックして、『Windows ヘルプとサポート』を参照してください。

■ Windows について

Windows の最新情報は次のホームページから確認できます。

URL : <http://www.microsoft.com/>

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

「Windows Update」については、Windows 8.1 の場合はスタート画面またはチャームの [検索] で検索し、Windows 7 の場合は『Windows ヘルプとサポート』を確認して設定してください。

リカバリーメディアの作成

リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて「**本章 5** リカバリーメディアを作る」

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて『困ったときは』

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のパソコンのトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照 リカバリーについて『困ったときは』

- ハードディスクや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。ハードディスクや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

パソコンにトラブルが発生したときに、パソコンを購入時の状態（初期状態）に戻すことを「リカバリー」といいます。

参照 ▶ リカバリーの詳細『困ったときは』

本製品のハードディスクには、システムやアプリケーションを購入時の状態に戻すためのリカバリーツールが搭載されています。

しかし、トラブルの原因によっては肝心のリカバリーツールを起動できないおそれもあります。

このような場合に備え、リカバリーDVD-ROMが付属していない場合は、あらかじめリカバリーツールをDVDなどの記録メディアにコピーしておくこと（リカバリーメディアの作成）をおすすめします。

ハードディスクからリカバリーができない場合でも、リカバリーメディアからリカバリーができます。

リカバリーメディアの作成は、トウシバ リカバリー メディア クリエイター「TOSHIBA Recovery Media Creator」で行います。
作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。

メモ

- リカバリーメディアを作成しておらず、ハードディスクからもリカバリーが行えない場合は、修理が必要になることがあります。
東芝指定のサービス会社に相談してください。

参照 ▶ 東芝指定のサービス会社について『困ったときは』

■ リカバリーを行うと

リカバリーをすると、ハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、WindowsパスワードまたはWindowsログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

また、データのバックアップについては、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

1 リカバリーメディアに使用できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Media Creator」では、次の記録メディアのいずれかを使用できます。何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

- USB フラッシュメモリ
- 記録用のDVDメディア
(DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW)

必要な記録メディアの枚数や容量は [TOSHIBA Recovery Media Creator] 画面に表示されます。

DVDの場合は、必要な枚数が表示されます。複数枚使用するときは、同じ規格の記録メディアで統一してください。

USBフラッシュメモリの場合は、リカバリーメディアの作成に最低限必要な容量が表示されます。表示される容量より大きい容量のUSBフラッシュメモリを用意してください。

お願い DVDについて / DVDの使用推奨メーカー

- 推奨するメーカーのDVDを使用してください。規格に準拠したDVDを使用してください。

参照▶ 使用できるDVD記録メディア『取扱説明書』

お願い リカバリーメディアの作成にあたって

- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」ではDVD-RAMおよびブルーレイディスクを使用できません。
- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を使ってリカバリーメディアを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
また、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。電源OFF / スリープ / 休止状態 / 再起動を実行しないでください。
- あらかじめ、DVD使用上の注意事項やUSBフラッシュメモリ使用上のご注意を確認してください。



参照▶ DVDやUSB対応機器の使用上のご注意『取扱説明書』

2 インストール方法


「TOSHIBA Recovery Media Creator」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 「アプリケーションの再インストール」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [ アプリケーションの再インストール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [アプリケーションの再インストール] をクリックする

2 [セットアップ画面へ] をクリックする

3 [ユーティリティ] タブをクリックする

4 画面左側の [TOSHIBA Recovery Media Creator] をクリックし、 [[TOSHIBA Recovery Media Creator] のセットアップ] をクリックする

5 画面の指示に従ってインストールする

「XXXX (ファイル名) を実行または保存しますか？」または「このファイルを実行または保存しますか？」というメッセージが表示された場合は、[実行] ボタンをクリックしてください。



3 リカバリーメディアを作成する

1章


パソコンの準備

1 「リカバリーメディア作成ツール」を起動する

■ Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面で、ポインターを動かす
- ② 画面左下の  をクリックする
- ③ [TOSHIBA] の [ リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

■ Windows 7 の場合

- ① [スタート] ボタン () → [すべてのプログラム] → [TOSHIBA] → [サポート&リカバリー] → [リカバリーメディア作成ツール] をクリックする

2 [タイトル]、[メディア] または [メディア構成] を選択する

必要なDVDの枚数やUSBフラッシュメモリの容量が表示されるので、用意してください。

DVDの場合、画面に表示される枚数分が必要になります。

USBフラッシュメモリの場合、画面に表示される容量が必要になります。

3 [作成] ボタンをクリックする

作成するリカバリーメディアの確認と記録メディアのセットを求める画面が表示されます。

4 DVDまたはUSBフラッシュメモリをセットする

参照▶ DVDのセット『取扱説明書』

参照▶ USB対応機器のセット『取扱説明書』

5 以降は、画面の指示に従って操作する

作成が開始されると、画面に、作成しているリカバリーメディアの進捗状況が表示されます。

作成を途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

DVDの場合、作成が終了すると、記録メディアが自動的に出てきます。

作成するメディアが複数枚ある場合は、メッセージに従って記録メディアを入れ替えてください。

作成したリカバリーメディアには、次のことがわかるように目印をつけてください。

- 「リカバリーメディア」であること
- 複数枚ある場合は、番号

たとえばDVDの場合、「リカバリーメディアXX (番号)」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリーをするとき、この番号の順にリカバリーメディアを使用しないと、正しくリカバリーされません。必ずリカバリーメディア番号がわかるようにして保管してください。

参照 ▶ リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す『困ったときは』

「TOSHIBA Recovery Media Creator」の詳細は、ヘルプを参照してください。

ヘルプの起動方法

- 1 「TOSHIBA Recovery Media Creator」を起動後、[ヘルプ] をクリックする